

平成29年度
網走市における景気動向調査
＜第IV四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領	2
1-1.	調査時点及び調査対象期間	
1-2.	調査対象	
1-3.	調査方法	
1-4.	回収状況	
第2章	概況	
2-1.	全体の動き	3
2-2.	業種別の動き	4
第3章	各判断項目回答割合	
3-1.	業況	7
3-2.	完成工事高・生産高・売上高	8
3-3.	在庫水準	9
3-4.	採算	9
3-5.	資金繰り	10
第4章	景況天気図	
4-1.	記号説明	11
4-2.	全業種 D.I.値の状況	11
4-3.	業種別 D.I.値の状況	12
第5章	産業別経営上の問題点	
5-1.	回答実数	14
5-2.	回答割合(%)	14
第6章	産業別設備投資の状況	15
第7章	業界の景気動向等その他のご意見	16

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成30年4月3日(火)～平成30年5月8日(火)
- (2) 調査対象期間：平成30年1月～3月期実施、及び平成30年4月～6月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(23件)、卸売業(20件)、小売業(39件)、サービス業(44件)の156社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

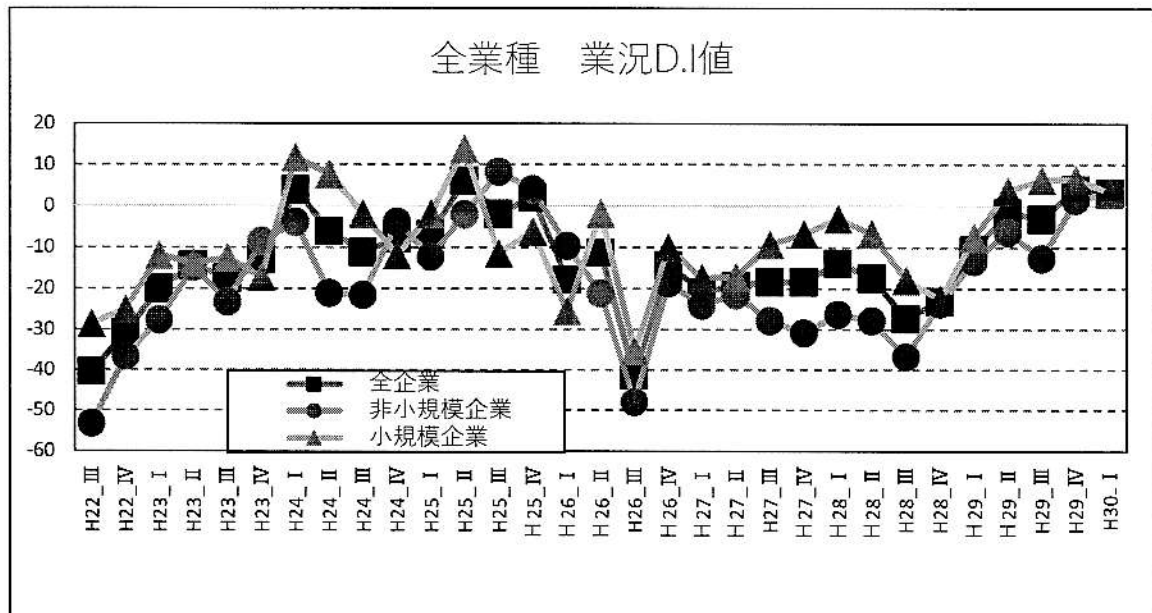
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
業種 建設業		30件	24件 (非小規模企業:13件) (小規模企業:11件)	80%
製造業		23件	20件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:10件)	87.0%
卸売業		20件	17件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:7件)	85.0%
小売業		39件	33件 (非小規模企業:17件) (小規模企業:16件)	84.6%
サービス業		44件	37件 (非小規模企業:18件) (小規模企業:19件)	84.1%
合計		156件	131件	83.9

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下(卸売業、小売業、サービス業は5人以下)を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注)D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で、景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成 29 年度第IV四半期<1 月～3 月>の業況は、前年同期比で「好転企業」27.5%、「悪化企業」22.1%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は 3.9 と前期に比べ 7 ポイント改善しました。規模別でみると、小規模企業の D.I.値は 0.1 ポイント改善し 6.4、非小規模企業は 14.2 ポイント改善し 1.5 となりました。全体としては、改善傾向を示し、16 期ぶりにプラス水準となりましたが景気回復局面に入ったのかの判断は今後の推移を注意深く見守る必要があります。

業種別でみた業況は、サービス業が 14.3 ポイント改善して 30.5、製造業 9.7 ポイント改善して 15.0 建設業は 9 ポイント改善し▲8.4、卸売業では全ての業種で改善傾向が見られるものの業種間によってまだ開きがみられます。

次期<4 月～6 月>の業況判断 D.I.は 0.8 ポイント悪化の 3.1 を予想しており、規模別でみると、小規模企業の D.I.値は 3.2、非小規模企業は 3 となっています。業種別では卸売業 23.6、建設業 8.4、サービス業 8.6、製造業▲5.0、小売業▲12.1 となっており、製造業、小売業を中心に厳しい予想を立てています。

経営上の問題点としては、「人材不足」が依然として高く(回答の 42.7%)小売業を除くすべての業種で一番の問題点にあげています。一方、小売業では「同業者間の競合」を問題としています。全体としては景気の停滞感から回復・改善傾向が確認されるものの、業種によって開きがあり、経営改善に向けた対応がより求められている状況にあると推測されます

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	20.0 %	50.0 %	-30.0	↘
非小規模企業	15.4 %	61.5 %	-46.1	↘
全 体	17.4 %	56.5 %	-39.1	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	20.0 %	40.0 %	-9.1	↘
非小規模企業	7.7 %	23.1 %	-15.4	↘
全 体	13.0 %	30.4 %	-17.4	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	増 加	減 少	D.I.値	
業況	小規模企業	36.3 %	18.2 %	18.1	↗
	非小規模企業	23.1 %	23.1 %	0.0	→
	全 体	29.2 %	20.8 %	8.4	↗
完成工事高	小規模企業	30.0 %	20.0 %	10.0	↗
	非小規模企業	15.4 %	23.1 %	-7.7	↘
	全 体	21.7 %	21.7 %	0.0	→
資金繰り	小規模企業	20.0 %	10.0 %	10.0	↗
	非小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	全 体	8.7 %	4.3 %	4.4	↗

(2) 製造業

■生産高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	30.0 %	20.0 %	10.0	↗
非小規模企業	40.0 %	20.0 %	10.0	↗
全 体	35.0 %	25.0 %	10.0	↗

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	30.0 %	20.0 %	10.0	↗
非小規模企業	40.0 %	30.0 %	-10.0	↘
全 体	35.0 %	25.0 %	10.0	↗

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	10.0 %	30.0 %	-20.0	↘
	非小規模企業	30.0 %	20.0 %	10.0	↗
	全 体	20.0 %	25.0 %	-5.0	↘
生産高	小規模企業	20.0 %	10.0 %	10.0	↗
	非小規模企業	20.0 %	20.0 %	0.0	→
	全 体	20.0 %	15.0 %	10.0	↗
資金繰り	小規模企業	5.0 %	20.0 %	-15.0	↘
	非小規模企業	0.0 %	20.0 %	-20.0	↘
	全 体	5.0 %	20.0 %	-15.0	↘

(3)卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	28.6 %	42.9 %	-14.3	↘
非小規模企業	33.3 %	44.4 %	-11.1	↘
全 体	31.3 %	43.8 %	-12.5	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	14.3 %	42.9 %	-28.6	↘
非小規模企業	0.0 %	33.3 %	-33.3	↘
全 体	6.3 %	37.5 %	-31.2	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	57.1 %	0.0 %	57.1	↗
	非小規模企業	30.0 %	30.0 %	0.0	→
	全 体	41.2 %	17.6 %	23.6	↗
売上高	小規模企業	57.1 %	0.0 %	57.1	↗
	非小規模企業	33.3 %	44.4 %	-11.1	↘
	全 体	43.8 %	25.0 %	18.8	↗
資金繰り	小規模企業	28.6 %	14.3 %	14.5	↗
	非小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	全 体	12.5 %	6.3 %	6.2	↗

(4)小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	12.5 %	31.5 %	-19.0	↘
非小規模企業	29.4 %	29.4 %	0.0	→
全 体	21.2 %	30.3 %	-9.1	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0 %	31.3 %	-31.3	↘
非小規模企業	17.6 %	23.5 %	-5.9	↘
全 体	9.1 %	27.3 %	-18.2	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	12.5 %	37.5 %	-25.0	↘
	非小規模企業	17.6 %	17.6 %	0.0	→
	全 体	15.2 %	27.3 %	-12.1	↘
売上高	小規模企業	18.8 %	37.5 %	-18.7	↘
	非小規模企業	11.8 %	23.5 %	-11.7	↘
	全 体	15.2 %	23.5 %	-15.1	↘
資金繰り	小規模企業	6.3 %	12.5 %	-6.2	↘
	非小規模企業	11.8 %	23.5 %	-11.7	↘
	全 体	9.1 %	18.2 %	-9.1	↘

(5) サービス業

■ 売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	42.1 %	10.5 %	31.6	↗
非小規模企業	50.0 %	16.7 %	33.3	↗
全 体	45.9 %	13.5 %	32.4	↗

■ 採 算

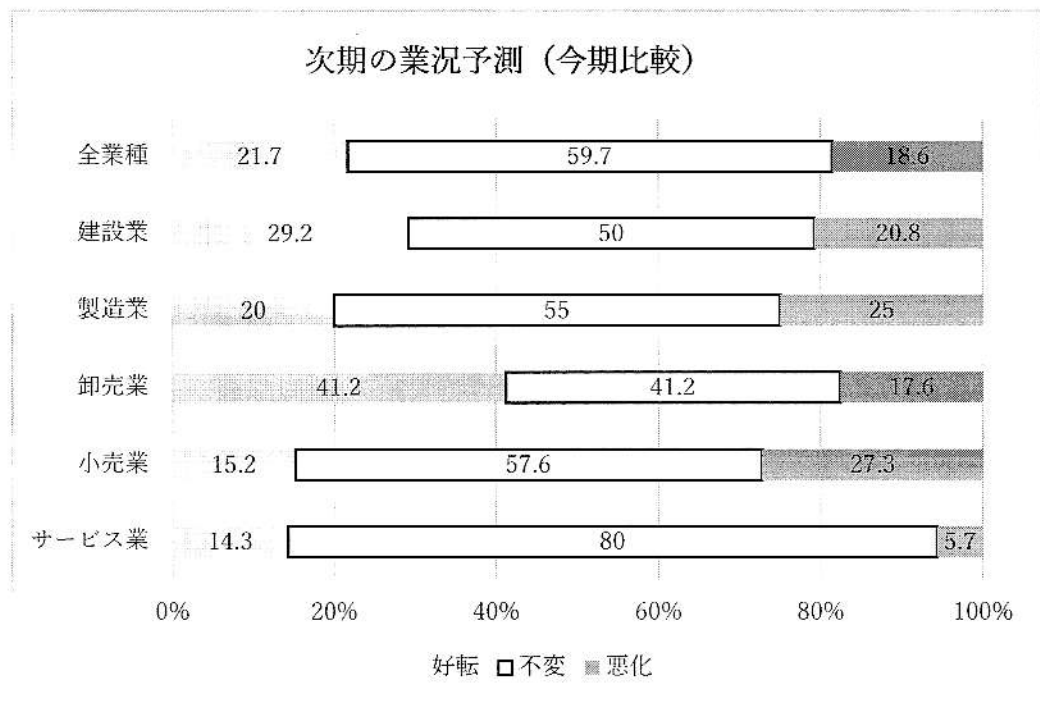
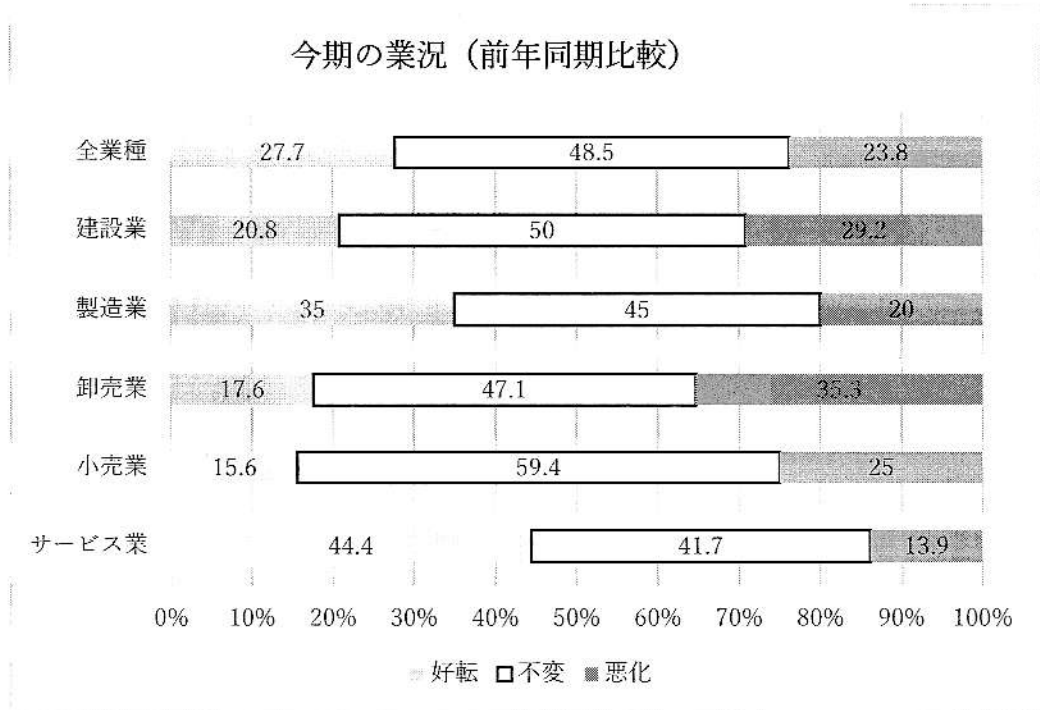
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	21.1 %	15.8 %	5.3	↗
非小規模企業	47.1 %	17.6 %	29.5	↗
全 体	33.3 %	16.7 %	16.6	↗

■ 次期の見通し

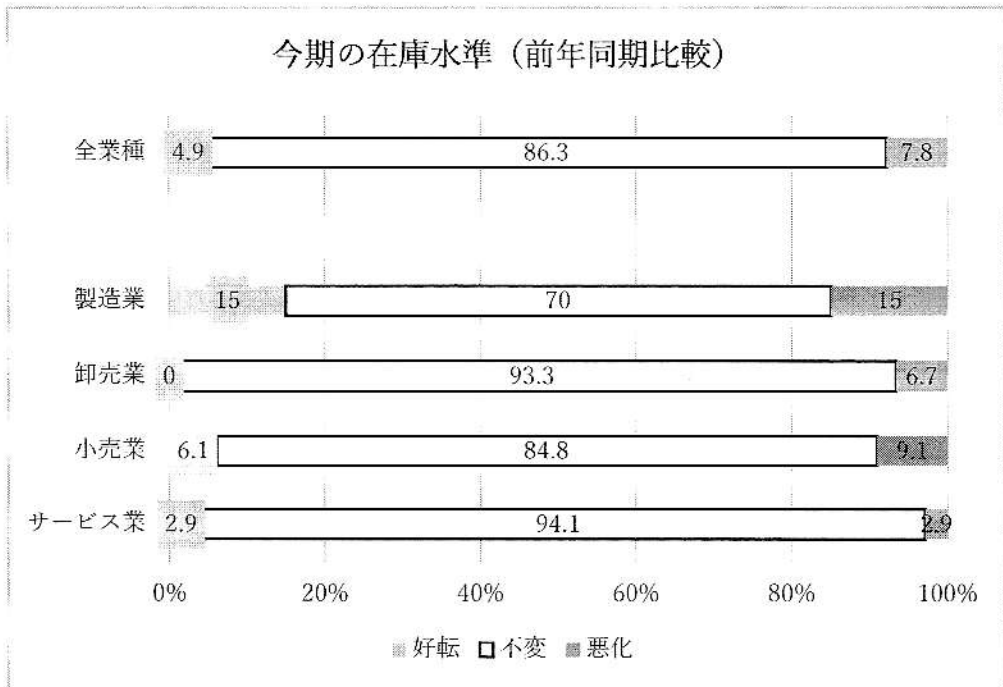
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	21.1 %	10.5 %	10.6	↗
	非小規模企業	6.3 %	0.0 %	6.3	↗
	全 体	14.3 %	5.7 %	8.6	↗
売上高	小規模企業	10.5 %	21.1 %	-10.6	↘
	非小規模企業	27.8 %	27.8 %	0.0	→
	全 体	18.9 %	24.3 %	-5.4	↘
資金繰り	小規模企業	10.5 %	5.3 %	5.2	↗
	非小規模企業	23.5 %	5.9 %	17.6	↗
	全 体	16.7 %	5.6 %	11.1	↗

第3章 各判断項目回答割合

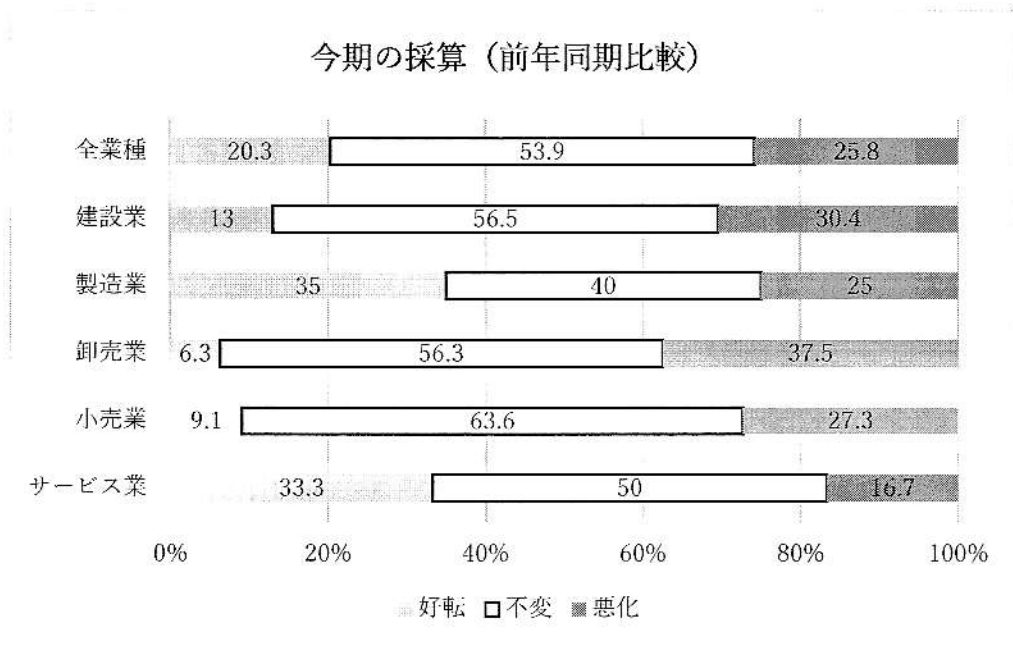
3-1. 業況



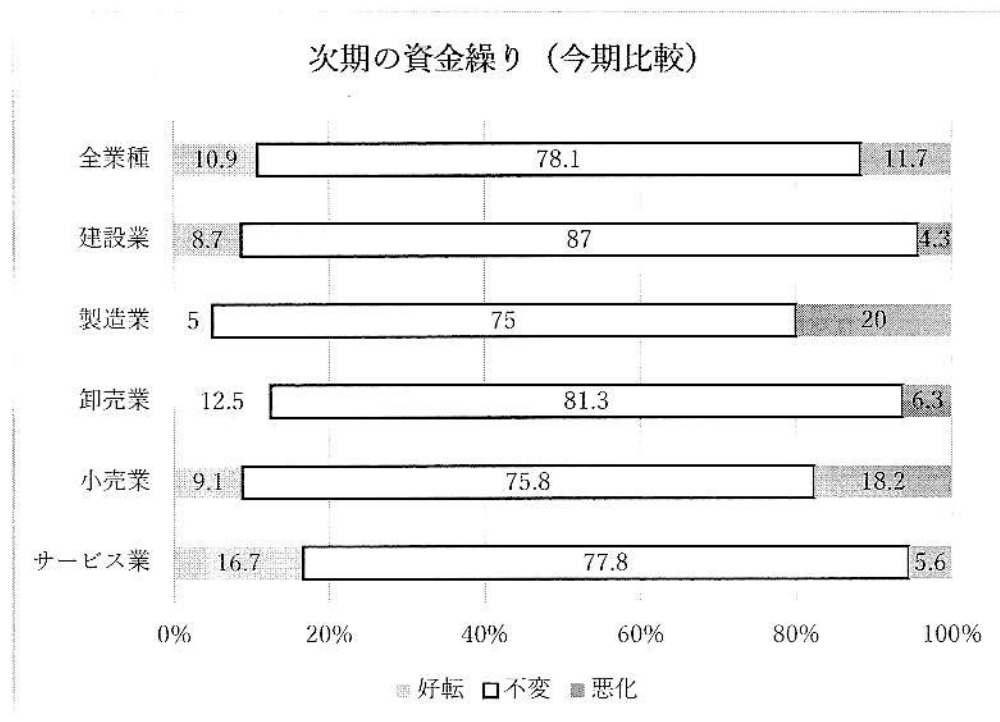
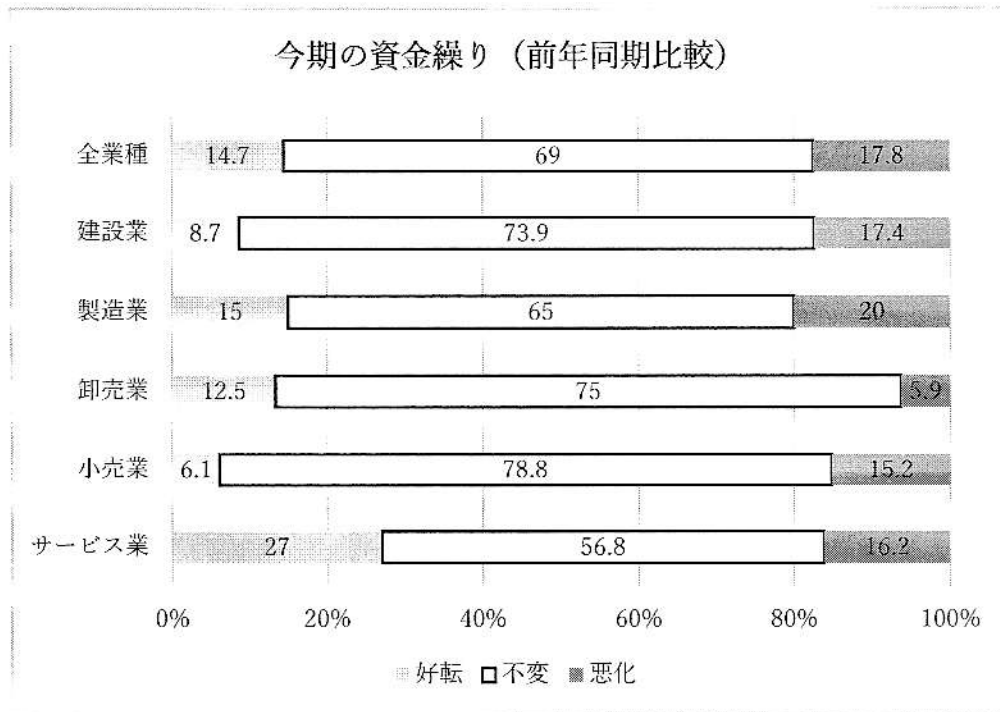
3-3. 在庫水準



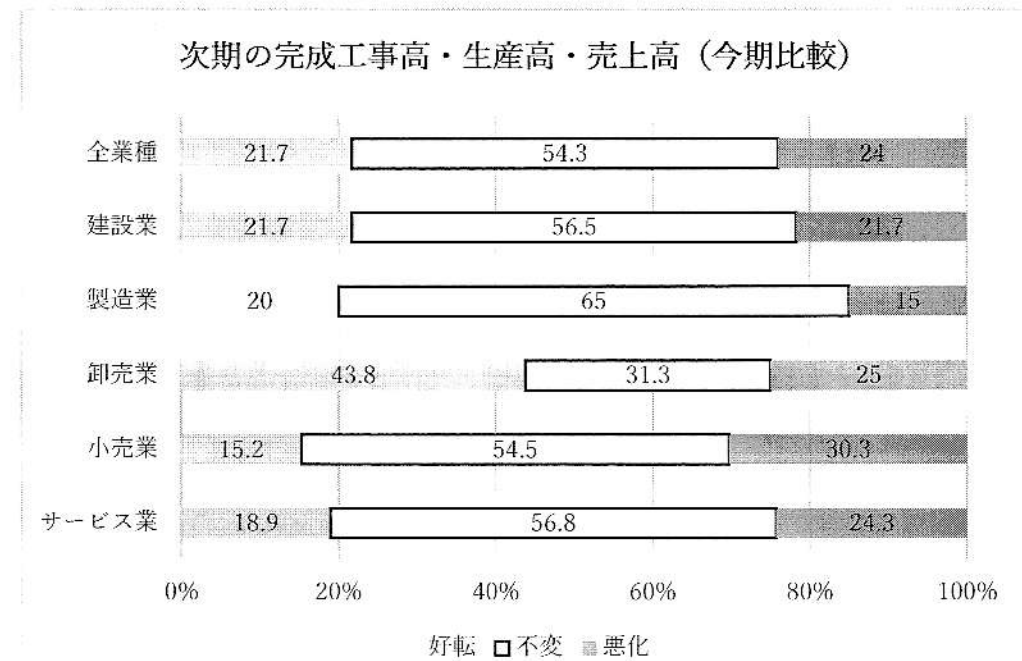
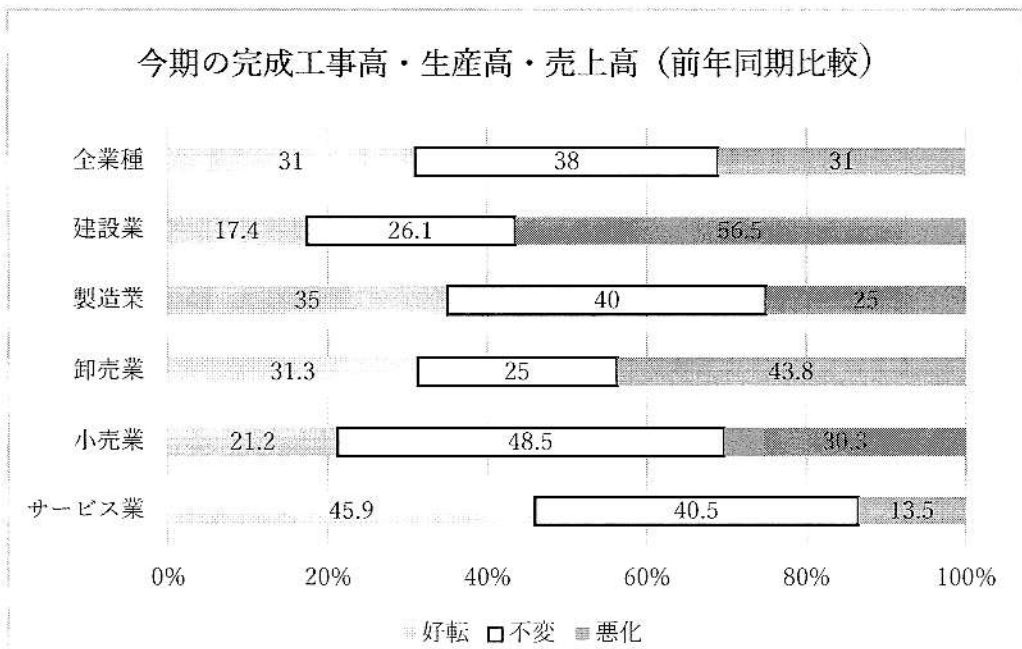
3-4. 採算



3-5. 資金繰り

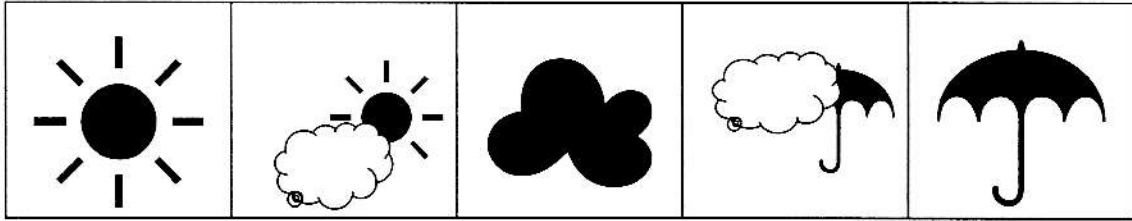


3-2. 完成工事高・生産高・売上高



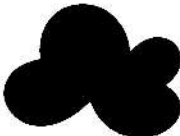
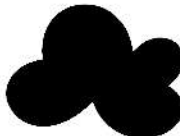
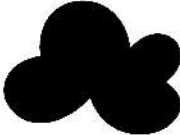
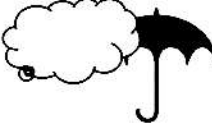



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明





































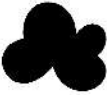
とくに好調 (D.I. ≥ 50) 好調 (50 > D.I. ≥ 25) まあまあ (25 > D.I. ≥ 0) 不振 (0 > D.I. ≥ ▲25) きわめて不振 (▲25 > D.I.)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業況	 3.9	 3.1
売上	 0.0	 ▲ 2.3
採算	 ▲ 5.5	/
資金繰り	 ▲ 3.1	 ▲ 0.8

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業況	 ▲ 8.4	 8.4
	完成工事高	 ▲ 39.1	 0.0
	採算	 ▲ 17.4	
	資金繰り	 ▲ 8.7	 4.4
製造業	業況	 15.0	 ▲ 5.0
	生産高	 10.0	 5.0
	採算	 10.0	
	資金繰り	 ▲ 5.0	 ▲ 15.0
卸売業	業況	 ▲ 17.7	 23.6
	売上	 ▲ 12.5	 18.8
	採算	 ▲ 31.2	
	資金繰り	 0.0	 6.2

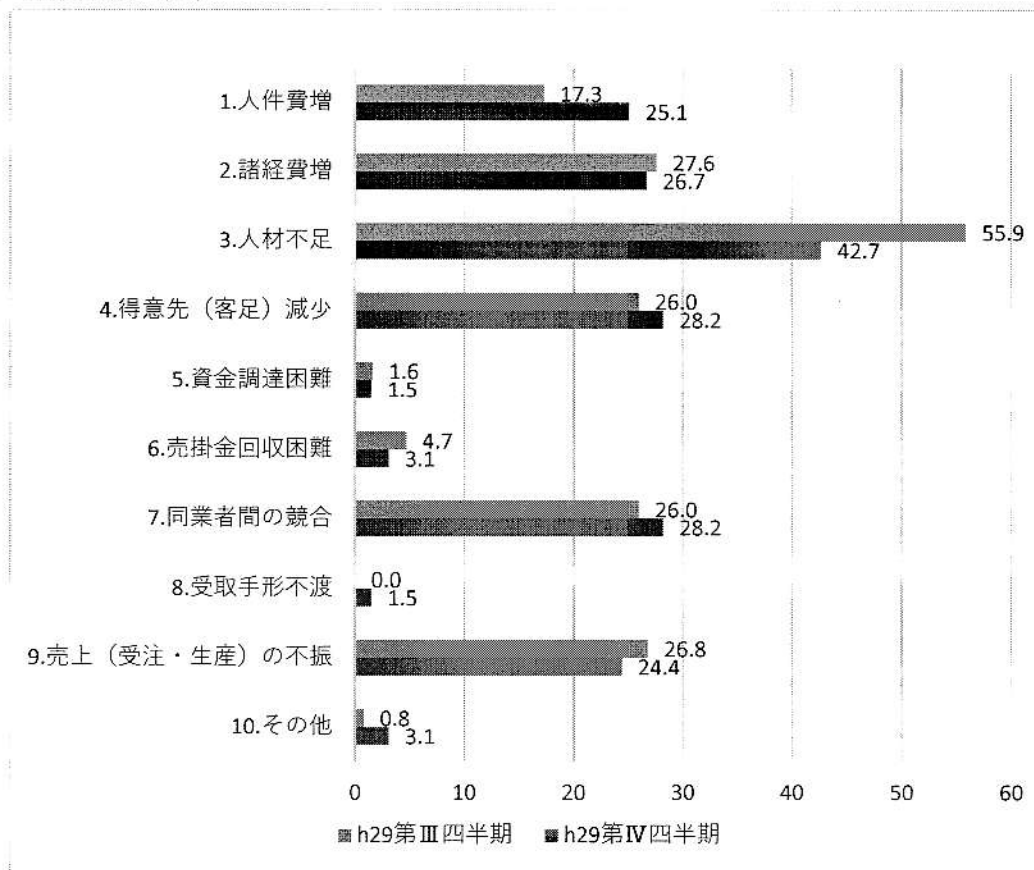
	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小売業	業況	 ▲ 9.4	 ▲ 12.1
	売上	 ▲ 9.1	 ▲ 15.1
	採算	 ▲ 18.2	
	資金繰り	 ▲ 9.1	 ▲ 9.1
サービス業	業況	 30.5	 3.1
	売上	 32.4	 ▲ 5.4
	採算	 16.6	
	資金繰り	 10.8	 11.1

第5章 産業別経営上の問題点

5-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	売上の不振	諸経費増	人件費増 得意先減少 同業者間の競合	受取手形不渡
製造業	人材不足	人件費増 諸経費増	売上の不振 同業者間の競合	その他	得意先減少
卸売業	人材不足 得意先減少	同業者間の競合	諸経費増	人件費増	売上の不振
小売業	同業者間の競合	得意先減少	売上の不振	諸経費増	人件費増 人材不足
サービス業	人材不足	人件費増 得意先減少	諸経費増	同業者間の競合	売上の不振
合計	人材不足	人件費増 得意先減少	諸経費増	人件費増 同業者間の競合	売上の不振

5-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第6章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	8件	33.3	7件	23.1	2件	19	3件	3.3	8件	34.4	28件	26.2
しない	6件	66.7	13件	76.9	14件	71.4	30件	96.7	29件	66.4	102件	64.3
無回答	-	-	-	-	1件	9.5	-	-	-	-	1件	100
合計	24件	100	20件	100	17件	100	33件	100	37件	100	131件	100

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	1件	-	-	-	-	1件
店舗	1件	-	-	1件	2件	4件
販売設備	-	-	1件	-	-	1件
車輛運搬具	7件	-	-	1件	5件	13件
付帯設備	1件	4件	1件	2件	2件	10件
OA機器	-	1件	-	-	2件	3件
福利厚生施設	-	-	-	1件	-	1件
その他	1件	4件	-	-	1件	6件

※複数回答があるため、表6-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(6件記述あり)

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・今期の1～3月が良かったのは今期に限り冬季の仕事があったからです。毎年ではない。3年くらい2人を通年雇用しているが12ヶ月の各月の仕事量は安定していない。12ヶ月毎月仕事量が安定する方策を考えれば人口流出もゆるくなり人材不足の要因の一つを解消出来るのではと思います。
- ・仕事があっても人材が不足している。平均年齢も超高齢化。

【製造業】

- ・販売数量の増加が見込めない中で設備投資のタイミングが難しい。また、多様化する商品仕様に対応していく中での機械化・自動化が困難。かつ人材確保も難しい。
- ・人手不足。

【小売業】

- ・整備士不足が深刻化しています。求人(ハローワーク・広告)しても応募はほぼない状況です。

【サービス業】

- ・経営者の高齢化が進んでいます。地元の飲食店業界は店主(経営者)自らがコーヒーやウィスキー、ラーメンなどを作り、提供しているケースがほとんど。体力、気力、知力が60代以降も充実し、やる気が持続できればいいのですが、、、。商いは「あきてしまった」ら衰退するとも言われます。経営者のモチベーション(やる気)の有無が大きな課題だと思えます。
- ・原材料の値上がりが不安です。
- ・材料費や燃料費等の値上げにより以前より経費が増えているため純利益がなかなかあがっていない。かと言って単価を上げるのも難しい現状です。
- ・同業者の店舗数が増加。客足の回数が減少。
- ・人材確保が課題。(大卒)

- ・人不足が深刻。休業日や部分休業で対応している。年明けから業況も好転の兆しありだが、(前年、前年比)稼働日が減少のため売上増につながらない。